

日本版デュアルシステムOJT（又は企業実習）  
評価項目作成支援ツールの開発



# はじめに

最近の日本における若者を取り巻く雇用失業情勢は大変厳しく、高い失業率、無業者・フリーター、ニートの増加など、若者が自らの職業意識を高め、可能性を活かす機会のないことが社会的な問題となっています。このような状況が続けば、若者本人に職業能力が蓄積されないばかりか我が国の経済基盤にも長期的に重大な影響を及ぼす懸念があります。

こうした状況に対応し、企業における実習訓練と教育訓練機関における座学とを組み合わせた養成プログラムを通じて、若年者を実践に強い一人前の職業人に育てる、新たな人材育成システム（日本版デュアルシステム）を構築するための事業を実施することになりました。企業における実習訓練と一体となった教育訓練を行うとともに、修了時に実践力の能力評価を行うことにより、高卒未就職者等が新たにフリーター化・無業化することも防止しつつ、企業の求める高度な人材ニーズにも応えていくものと期待されています。

今年度、この事業のために厚生労働省より委託を受け、「日本版デュアルシステムOJT（又は企業実習）評価項目作成支援ツール」の作成を、当機構の職業能力開発施設の指導員に委員として参加いただき、「生涯職業能力開発体系」を活用して行ったところです。

このツールは長期間にわたる企業現場における実習の評価について、その評価項目のモデルを定め、個々の訓練科に対応する評価項目の作成を支援するためのツールです。

各教育訓練機関では、企業実習の評価項目を作成するにあたって、固定的な項目を設定するのではなく、今般例示された多くのモデル評価項目の中から実施する訓練科にふさわしいものを選んで、実際に各訓練科で使用する様式を作成してもらう仕組みとしました。

職業能力開発総合大学校能力開発研究センターでは、次年度以降も現場での活用状況を勘案しながら、今回のツール内容を再度検証し、モデル訓練科の増設と内容の充実を図っていきたいと考えております。

最後に本ツールを作成するにあたり委員としてご協力いただいた各指導員の方々に厚くお礼を申し上げます。

2005年1月

独立行政法人 雇用・能力開発機構  
職業能力開発総合大学校  
能力開発研究センター所長 池本 喬三



## 「日本版デュアルシステムOJT(又は企業実習)評価項目作成支援ツール」の 開発に係る作業部会委員

### 委員(順不同)

塩 練 俊 一	近畿職業能力開発大学校生産システム技術科
尾 添 史 郎	高度職業能力開発促進センター素材・生産システム系
立 野 文 丈	広島職業能力開発促進センター機械系
三 浦 志 樹	四国職業能力開発大学校生産電子システム技術科
青 柳 文 隆	栃木職業能力開発促進センター電気・電子系
境 田 益 知	東海職業能力開発大学校附属浜松職業能力開発短期大学校電子技術科
川 津 好 宏	千葉職業能力開発促進センター情報・通信科
丸 山 正 実	中部職業能力開発促進センター居住系
望 月 孝 則	愛媛職業能力開発促進センター居住系
池 田 久 孝	北海道職業能力開発促進センター管理・事務系
上 羽 博 人	港湾職業能力開発短期大学校横浜校港湾流通科

### 事務局

今 村 耿 介	職業能力開発総合大学校能力開発研究センター開発研究部長
白 川 幸太郎	同訓練技法研究室長
菅 原 由 佳	同研究室員
小 堀 勝 幸	同研究室員
松 中 孝 二	雇用・能力開発機構職業能力開発管理部管理課長補佐
永 野 朝 子	同管理課基盤整備係長



## 目 次

### はじめに

第1章 日本版デュアルシステム OJT（又は企業実習）評価項目作成支援ツールの開発概要 .....	1
第1節 日本版デュアルシステムの概要 .....	1
第2節 日本版デュアルシステム OJT（又は企業実習）評価項目作成支援ツールの開発に至る経緯説明 .....	3
第2章 評価項目作成支援ツールの開発に係る基本的な考え方 .....	4
第3章 評価項目作成支援ツールの開発に係る作業部会について .....	5
第1節 作業部会委員の選出 .....	5
第2節 作業部会の開催 .....	5
第3節 作業部会の検討事項 .....	5
第4章 日本版デュアルシステム OJT（又は企業実習）評価項目作成支援ツールの手引き .....	6
第1節 日本版デュアルシステムの類型と訓練の呼称 .....	6
第2節 日本版デュアルシステムにおけるOJT等の評価及び評価の項目について .....	7
1. OJT等の評価のあり方について .....	7
2. OJT等の評価の視点 .....	8
第3節 OJT等の評価の実施に係る全体の流れと評価項目 .....	8
1. OJT等の評価実施に係る作業の流れ .....	8
2. 各様式の意味と使用方法 .....	10
イ 様式1：〇〇科に関する仕事の体系（職務別能力要素の細目） .....	10
ロ 様式2：〇〇科に関する仕事と教科目の関係 .....	11
ハ 様式3：日本版デュアルシステム OJT（又は企業実習）履修状況証明書 .....	12
ニ 様式4：日本版デュアルシステム OJT（又は企業実習）評価証明書 .....	15
ホ 様式5-1：日本版デュアルシステム OJT等履修内容証明書 .....	19
ヘ 様式5-2：日本版デュアルシステム OJT等習得能力証明書 .....	21
*表 各様式の作成と教育訓練機関及び企業の関係 .....	24
第4節 モデル様式及びモデル訓練科について .....	25

第5章	CD-ROM版ツールを使った各様式の作成について	26
第1節	支援ツールの概要	26
第2節	実施訓練科に合った各様式の作成方法（モデル訓練科の様式及び関連データを活用）	28
1.	様式1（〇〇科に関する仕事の体系（職務別能力要素の細目））の作成	28
2.	様式2（〇〇科に関する仕事と教科目の関係）の作成	29
3.	様式3（日本版デュアルシステム OJT（又は企業実習）履修状況証明書）の作成	30
4.	様式4（日本版デュアルシステム OJT（又は企業実習）評価証明書）の作成	32
5.	様式5-1（日本版デュアルシステム OJT等履修内容証明書）の作成	35
6.	様式5-2（日本版デュアルシステム OJT等習得能力証明書）の作成	37
第6章	評価項目作成支援ツールの使用方法	38
第1節	概要	38
第2節	機器構成	38
第3節	ウィンドウ一覧	39
第4節	起動方法	40
第5節	操作方法	41
1.	メインメニューウィンドウ	41
2.	モデル訓練科選択ウィンドウ	42
3.	様式選択ウィンドウ	43
4.	様式1ウィンドウ	44
5.	様式2ウィンドウ	45
6.	様式3ウィンドウ	46
7.	様式4ウィンドウ	47
8.	様式5ウィンドウ	48
9.	仕事の体系ウィンドウ	49
10.	作業内容ウィンドウ	50
第6節	保存方法	51